

松井小児科

2020年度インフルエンザワクチン接種予約受付のお知らせ

予約受付期間

10月1日(木)午前9時から、予約はインターネットのみで行います。電話ならびに窓口での予約は行いません。高齢者で当院定期通院中の方のみ窓口で予約できます。診察券番号をお持ちでないご兄弟、保護者の方はお子さんの接種当日院内で診察券をお作りします。かかりつけ患者様の予約を優先しますため、当院の診察券番号がないお子さんの新規受付は11月中旬以降に予定しています。

接種期間

10月12日(月)から年内の予定 ワクチンが無くなり次第早期終了の可能性もあります。

接種時間帯

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 午前診前 | | 8:45-9:00 | | 8:45-9:00 | | 8:45-9:00 |
| 診察時間内 | | 10:45-11:00 | 10:45-11:00 | 10:45-11:00 | 10:45-11:00 | |
| 予防接種時間帯 | 15:30-16:00 | | 12:00-12:30 | | | 13:00-14:30 |
| 診察時間内 | 16:30-17:00 | 16:30-17:00 | 16:30-17:00 | | 16:30-17:00 | |
| | 17:45-18:00 | 17:45-18:00 | 17:45-18:00 | | 17:45-18:00 | |
| | 18:45-19:00 | 18:45-19:00 | 18:45-19:00 | | 18:45-19:00 | |

接種対象

当院の診察券番号をお持ちの1歳以上の方が対象です。ただし生後6か月以上の方ですすでに保育園に通園中の方は接種対象とします。卵アレルギーのある方は接種要注意者に該当しますので、インフルエンザにかかった場合のリスクとワクチン接種とのバランスを考慮し接種を行うかどうか判断します。

接種回数と接種時期

ワクチンの効果と副反応の可能性を考え、原則1歳以上の方の接種とさせていただきます。1歳以上13歳未満の方(小学校6年生)は2-4週の間隔をあけて2回接種する必要があります。13歳以上(中学生以上)の方は1回接種となります。2回接種が必要な方は必ず2回目の予約も行ってください。供給状況によっては2回目のワクチンをお取りできない場合がありますので、お早目の接種をお勧めします。

費用

3歳未満(1回目3000円/2回目2000円)、3歳以上13歳未満(1回目3500円/2回目2500円)、13歳以上20歳未満3500円、20歳以上4000円です。高齢者の方(65才以上)は生駒市からの補助があり一部負担金は2000円です。

13歳未満の方の2回目の割引料金は当院かかりつけの方のみです。1年以内に転居されてきた場合を除き、以下に該当する方は2回目も1回目と同料金で、割引料金にはなりません。

- ① 当院で継続的に定期予防接種(ヒブ/小児肺炎球菌/B型肝炎/4種混合/BCG/麻疹風疹(MR)/水痘/日本脳炎など)を受けておられない方。
- ② 昨年度他医療機関でインフルエンザワクチンを接種されている方
- ③ 他医療機関で本年度1回目のインフルエンザワクチンを接種されている方

接種当日の待ち時間短縮のため、接種日までに問診票を取りに来ていただくか、ホームページからダウンロードしていただき、問診票にご記入の上ご持参ください。お子様は必ず母子手帳をご持参ください。母子手帳をお忘れになると接種はできませんのでご注意ください。

接種当日の注意

- ①診察時間内は一般診察と並行しての接種となりますので、ご予約があってもお待たせすることが多くなります。待合室で診察の方と一緒にとなりますので、ご了承の上時間に余裕をもって予約時間にご来院ください。接種の際にお子様が悪がったりした場合は順番を後にさせていただき、当日の接種をお断りする場合があります。
- ②予防接種専用時間帯は薬の処方や体調不良等の診察はできません。熱が 37.5℃以上や体調不良の場合は診察に来ていただくか、インターネットで予約変更をしてください。連絡なく来院されなかった場合はキャンセルされたものとして扱わせていただきます。
- ③接種当日は激しい運動を避けてください。お風呂は差支えありませんが、接種部位を強くこすらないようにお願いします。

Q&A

「Q1. 乳児でも接種していいですか？」

現在日本で使用されているインフルエンザワクチンはスプリットワクチンでインフルエンザにかかったことがない人には効果はないとされています。したがって、インフルエンザにかかったことがない乳児や幼児では効果がほとんど期待できません。当院ではインフルエンザにかかったことがない乳幼児にはインフルエンザワクチン接種を積極的に勧めていません。かわりにまわりのご家族の方の接種を勧めています。しかし6か月から接種は可能ですので、効果があまり期待できないことを承知していただければ、希望で接種はいたします。

「Q2. 何月に接種すればいいですか？あまり早く接種すると抗体が持たないのでは？」

流行前に2回接種が終わるように、1回目は10月-11月、2回目は12月上旬までに接種しましょう。抗体は2回目接種から10日-14日で上昇し、5か月間は有効な力価が維持されるとされています。

「Q3. 毎年インフルエンザワクチンを接種しないといけませんか？」

インフルエンザワクチンは流行が予想されるワクチン株で作られます。前シーズン接種していても予防効果は期待できませんので、原則毎年接種しましょう。

「Q4. インフルエンザワクチンの有効性はどうでしょうか？」

現在日本国内で用いられている不活化ワクチンは感染を完全に阻止する効果はありませんが、インフルエンザ発症を予防することや、発症後の重症化や死亡を予防することに一定の効果があるとされています。乳幼児のインフルエンザワクチンの有効性は概ね20%-50%の発病防止効果があるとされています。しかし乳幼児をインフルエンザウイルス感染から守るためにはワクチン接種に代わってご家族や周囲の大人たちが手洗いや咳エチケットを徹底することや、流行時期には人が多く集まる場所には行かないようにするなど、ウイルスに暴露されることをできるだけ抑制する工夫も大切です。